

愛媛県宇和島市における

スマートスピーカーを活用したみまもりサービス
及び

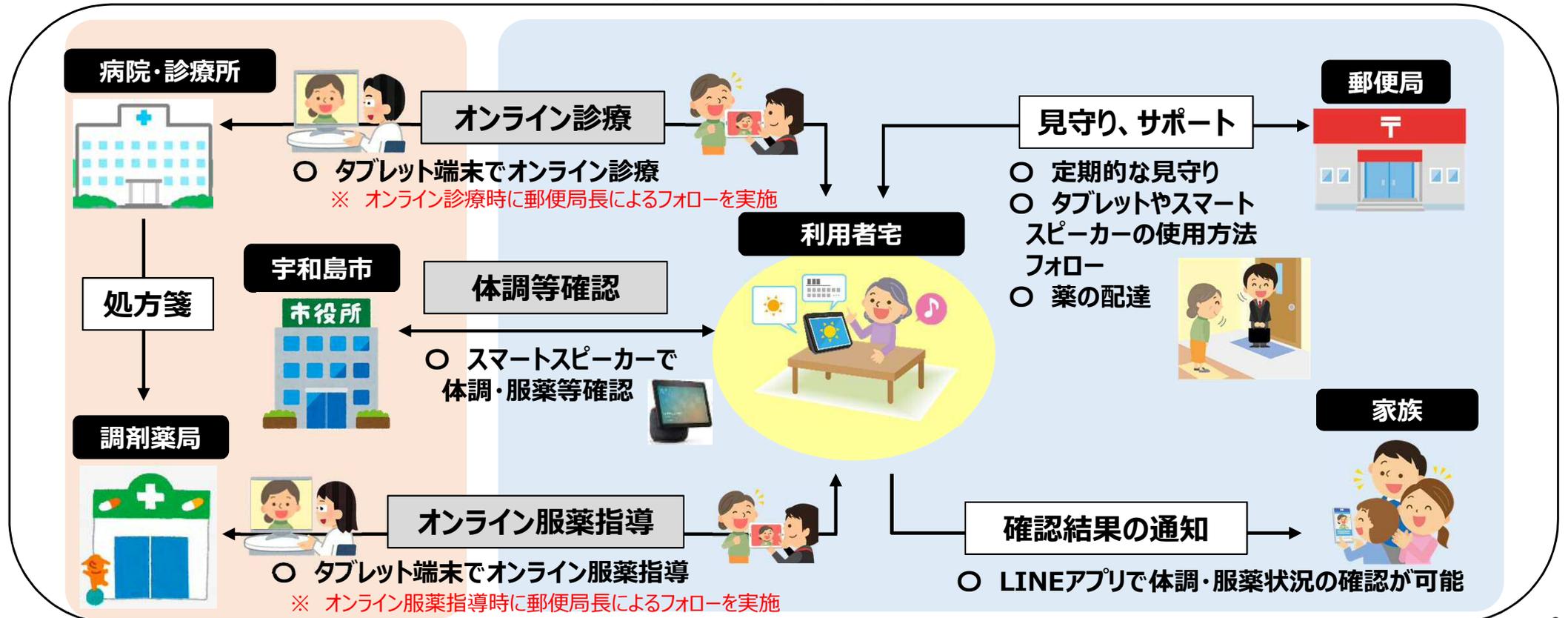
オンライン診療・服薬指導のサポート等の取組

日本郵便(株) 宇和海郵便局
局長 清家 裕二

1. 概要

- デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用して、スマートスピーカーを活用した郵便局のみまもりサービス、タブレット端末(iPad)を活用したオンライン診療・オンライン服薬指導のサポート及び薬の配達を順次実施。
- スマートスピーカーの利用対象者は、慢性疾患のある高齢者等20名を予定。
- また、離島（戸島、日振島、鹿島）と宇和島市内の診療所（4か所）には、タブレット端末を設置し、遠隔診療を実施。利用対象者は、スマートスピーカー利用対象者20名の中から希望者を募っている。
- 日本郵便の役割は、スマートスピーカーを活用したみまもりサービスの提供（体調・服薬確認、みまもり訪問時に使用方法をフォロー）、タブレット端末を活用したオンライン診療のサポート（みまもり訪問時にタブレットの使用方法などのフォロー）、薬の配達、利用者募集のサポートなど。

サービス全体イメージ



※病院・診療所、調剤薬局、宇和島市はシステムにて情報共有

2. プロジェクト実現出来た理由

1) 関係者の思いの一致

- 住民の方 ➡ 通院しづらい体調や通院への時間と費用負担の軽減
- 宇和島市 ➡ 新しいシステム導入による福祉事業充実。医師不足
- 日本郵便 ➡ スマートスピーカー普及による地域貢献

2) 時代の要請

- ・コロナウイルス感染症拡大による遠隔医療サービス拡大機運
- ・デジタル田園都市構想による地方創生施策

3) 関係者の協力

- ① 医師
- ② 薬剤師

4) 宇和島市と弊社との信頼関係

- ① 西日本豪雨ボランティア活動
- ② コロナウイルス感染症による特産品販売減少対策支援(#鯛食べよう)

3. 事業発想の発端・経緯

- 2020年 8月23日 包括連携協定締結(9項目)高齢者等を支える地域づくりに関すること
- 2021年 8月 6日 包括連携協定に基づく定例会議
宇和島市高齢者福祉課岩村課長より、現状の駆付サービスを2021年度で終了し、2022年度より新しいサービス導入検討との情報提供。
- 2021年 8月20日 みまもりサービス及び補助金(地方創生推進交付金等)を活用した事例提案
- 2021年 9月24日 宇和島市現状ヒアリング(本社担当者もZOOM参加)
- 2021年10月 4日 スマートスピーカー見積書提出
- 2021年10月20日 スマートスピーカーに係る地方創生交付金の活用をご提案
- 2021年10月25日 宇和島市と担当予定医との打ち合わせ(前向き回答を得る)
- 2021年11月 5日 アマゾン社の回答
- 2022年 2月 4日 宇和島市薬剤師協会会長打ち合わせ
- 2022年 2月27日 デジタル田園都市国家構想推進交付金申請
- 2022年 4月30日 デジタル田園都市国家構想推進交付金交付決定
- 2022年 6月20日 宇和島市補正予算成立
- 2022年11月24日 業務委託契約書締結
- 2022年11月30日 プレスリリース

4. 関係者の調整など苦労した点、工夫した点

1) 時間の制約

補助事業申請や議会スケジュールなど、時間の制約があるなかで、宇和島市も弊社も、様々な省内や社内手続き(見積書提出や契約書承認)に一定の時間が必要であったこと

2) みさいやネットとの連携・協業

みさいやネットは宇和島市医療関係者等の情報共有システムです。

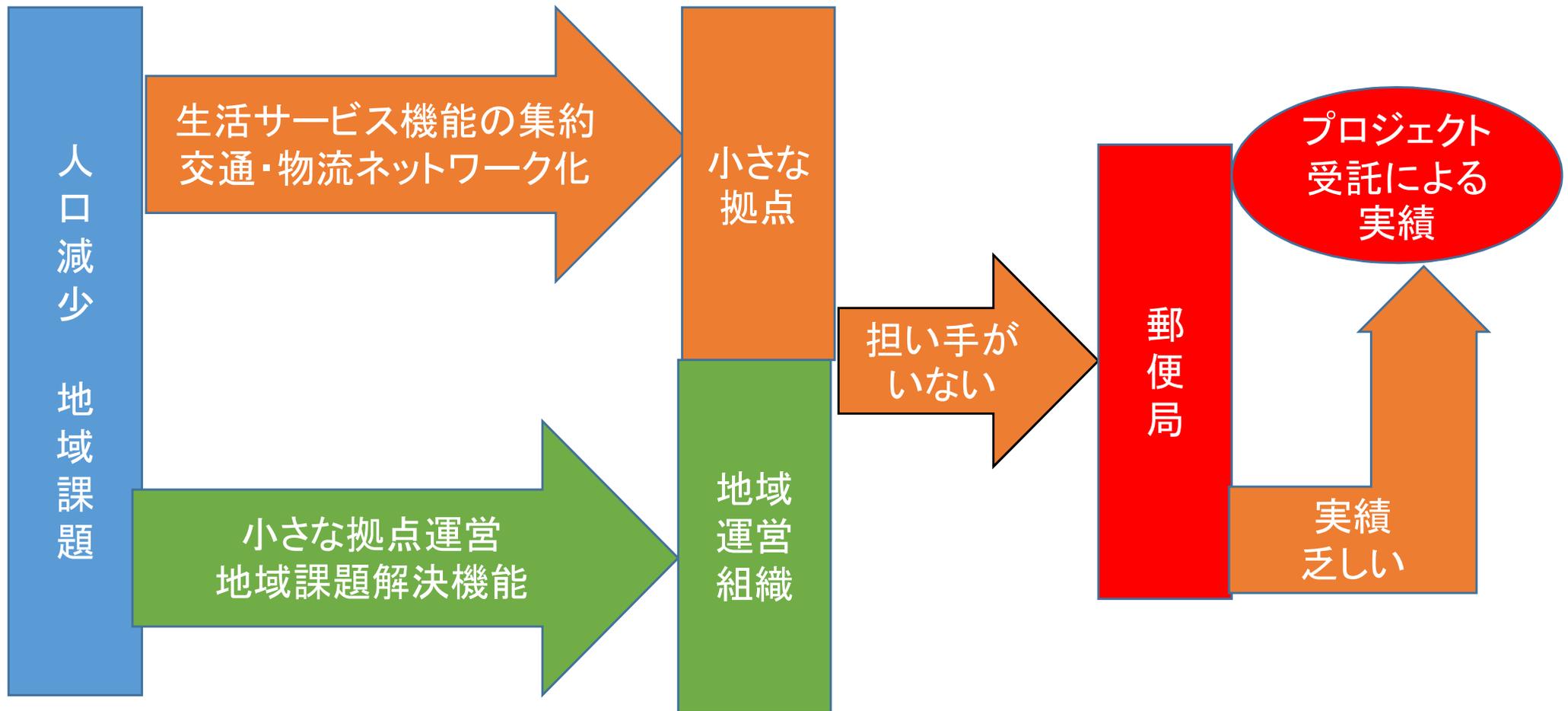
月1回のみまもりサービス時に活用することにより、オンライン診療服薬指導を実現した。

日々の状況(服薬状況等)を踏まえたオンライン診療や服薬指導につながり、今後情報を共有することにより切れ目ないサービスの提供の実現を目指している。

みさいやネットサービスベンダーとの調整(IDの発行やキッキングスケジュール等)は苦労もあった。

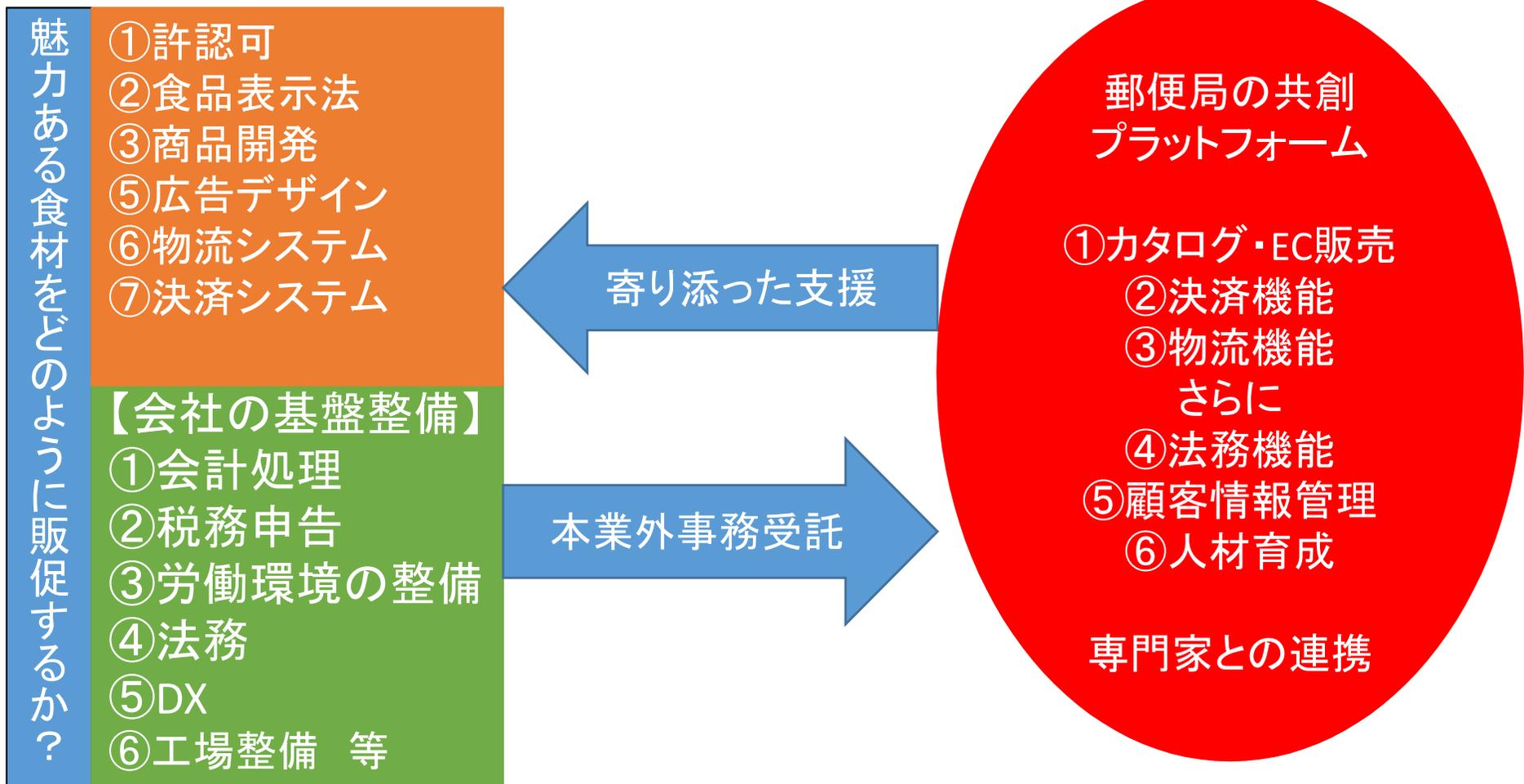
5. 郵便局の地域貢献に関する現場の声①

～小さな拠点・地域運営組織～



5. 郵便局の地域貢献に関する現場の声② ～一次産業事業者支援～

【一次産業事業者】



6. 郵便局の目指すもの

地域課題解決による社会貢献型新規事業を実現する企業となること！！

➡地域課題の解決に向けて、

- ①郵便局の経営資源を活用できないか？
- ②地方公共団体や企業、NPO法人等との連携できないか？
- ③地方と都市部との連携窓口にできないか？